

表紙のことは

ビートルズが中学生のころから好きでした。カセットテープに曲を入れて聴いていました。今はカラオケで「イエスタデイ」や「ヘイ・ジュード」を歌います。入院生活で作業療法の時間に絵を描いたり、貼り絵をしたりしています。貼り絵で一番好きなビートルズをつくることを勧められました。大きく人を描くことに苦労しました。青や黒の色を合わせて貼るのも大変でした。今回、表紙に選ばれて、父さんと母さんが感動してくれました。ぼくもうれいいです。もっとうまく描きます。

加藤 裕 「イエスタデイ(1 番好きな)」



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



渡邊 康次 「雷門」

脳内出血を発症して後遺症で右半身不随になって、27年が経ちました。点描画を始めて左手1本で、ドットで色付ボールペンにて描くことを覚えて5年が経ちます。2年前表紙に掲載を決定していただく栄誉をいただき、今年も掲載をしていただき、毎日の励みになっています。昨年は、惜しくも落選でしたが、時間が足りないところで慌てて描いたのが失敗の原因だと悟って、今年は余裕をもってリベンジの思いを込めて「雷門」の点描画の作品を投稿させていただきました。

微細な場所等、丁寧に時間を惜しまずに、描くことに重点を置いて描きました。建築パースを描くが如く、相当に力を入れた作品に仕上がりました。